

水辺で乾杯！



個人正会員 小松崎 暁子

CNCP の活動で知り合った水戸市の M さんより情報をいただき、国土交通省の事業<ミズベリング>が企画するイベント「水辺で乾杯」に埼玉県吉川市から参加しました。

このイベントは、日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクトの一環として、「7月7日（水の日）の午後7時に水辺に集まり、全国一斉に乾杯する」というもので、川を感じ、川の歴史に思いを馳せ、優雅な時間を共有するのが目的です。

私は市民活動団体「中川の会」のメンバーとして、地域の財産である中川をもっと身近に感じ、活用していきたいと願っており、「中川の会」主催で開催することにしました。

中川の会では、市の総合振興計画や国・県との交渉、「川の駅」誘致についてなど難しいことはチームのメンバーである専門家の方たちが進めて下さってまして、私に出来ることは、「楽しむこと」くらい。そういう意味ではこの「水辺で乾杯」が私の出番！というわけです。

話は変わって私の住む吉川市は江戸時代から幕府直轄の天領として、中川の水運で江戸に物資を運んでいた歴史があります。船着き場にはたくさんの料亭が軒を連ね賑わっていました。当時から現在に続く老舗料亭のひとつ「福寿家」さんが今回、雨天に備えて川に面したお座敷をイベントのために開放して下さいました。

私も何か出来ることはないかと、川の守り神「河童」に変身して参加者をお出迎えすることにしました。当日、和服姿の美しい女将さんの横で河童が「ようこそ！」ですから、もう皆さんお腹を抱えて大笑い。川のほとりの料亭で、河童も一緒に乾杯！「楽しかったよ」「来年も呼んで」とたくさんの「ありがとう」を頂きました。河童は「中川の会」啓蒙のためこれからも活動していこうと心に誓いましたとさ。出会いに感謝。

